まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の話題をお届けしています
広報広聴課 ☎51−0123 内線2823へご連絡ください

ひと

佐野　留美 さん（天間）

託児ボランティアグループ「Babies（ベイビーズ）」のリーダー

佐野さんは、ことし二月から三月にかけて社会福祉協議会が主催した「託児ボランティア講座」に参加。そして、その講座に参加した皆さんが集まり、四月から託児ボランティアグループ「Babies」を発足。佐野さんがそのグループの初代リーダーとなりました。

託児ボランティアは比較的新しいボランティアの分野。グループも名前のとおりまだ生まれたばかりですが、佐野さんをはじめメンバーの皆さんは、公民館などで開かれている講座などの託児ボランティアとして、熱心に活動しています。

佐野さんは、「周りの人の協力があったからこそ、自分の子育てができてきたと強く感じています。託児ボランティアに参加したのも、子育てのことで自分も何か協力できないかと思ったからです。

子ども会活動や現在の仕事で、子供たちと接する機会は多いのですが、託児ボランティアとして実際に活動をしてみて、改めて子供たちの持つエネルギーに驚かされ、子供たちから力をもらっている気がします。

託児ボランティアは、子育ての経験のあるなしを問わず、身近なボランティアではないかと思います。

グループが発足してまだ日も浅く、メンバーが十九人と少ないのですが、長く活動を継続できるようにしていきたいですね。また、一緒に細く長くボランティアに参加してくださる方がいたら大歓迎です」と話してくれました。

★託児ボランティアについて詳しくは
ボランティアセンター
☎六四−七一〇〇

ズームアップ ふるさじ

大淵にある稲垣家住宅が国の登録文化財に指定されました

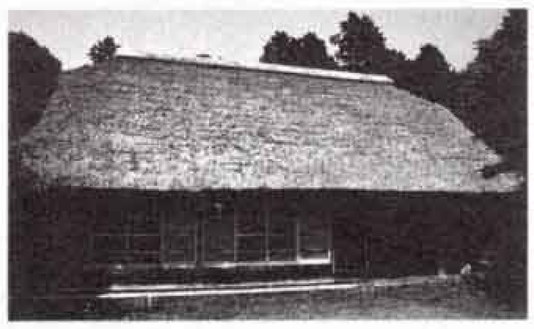
今春、大淵にある稲垣幸洋（ゆきひろ）さん所有の住宅が、文化庁の登録文化財に指定され、六月一日、その登録証とプレートの授与が行われました。

稲垣家住宅は、木造平屋建てで、建築面積百九十二平方メートル。記録によると、文化元年（一八〇四年）に、稲垣数右衛門さんが建築したもので、現在の当主の幸洋さんが八代目に当たります。稲垣家は昔から地域の大地主として、地域の人からは「大淵の大家（おおや）」と呼ばれ親しまれてきました。

住宅は、カヤぶき屋根で「入母屋（いりもや）形式兜（かぶと）造り」と呼ばれる建築形式が特徴。その内部は階下が住まいで、階上が養蚕場であった様子を、今にとどめる造りとなっています。また、広い屋敷の周りは黒い板塀が張りめぐらされ、日本古来の雰囲気を感じさせてくれます。現在、県内でこの兜造りの住宅は、この稲垣家と静岡市の大村家の二か所しか残っておらず、大変貴重なものです。

幸洋さんは、「この家を守ってきてくれた先祖に感謝したいと思います。私自身、建築の仕事をしていることもあり、古い建物には関心があります。これからもこの住宅を大切にしていきたいと思っています」と登録された感想を話してくれました。

▲稲垣さん一家に、富士市太田均教育長が登録証とプレートを授与



▲稲垣家住宅の全景